



2021年10月12日

キリスト教センター通信

リレーメッセージ第43号

仮想か現実か

キリスト教センター長 藤倉哲哉

現実ではなく仮想の世界を指す“virtual”は、いまや私たちの日常生活にすっかり定着した。E-Commerce(電子商取引)の初期にあってはVirtual Mallでのインターネットショッピングに始まり、CG技術の向上に伴いVirtual Realityを用いた訓練や学習、ゲームなども広く普及した。

本学でも授業をはじめ留学や研修、従来の学生の派遣や交流を含むさまざまなプログラムに代わるものとして、オンラインやバーチャルで実際に近いものを提供する機会が増えてきた。

英語の辞書によると“virtual”は「実体がなくとも本質」を示し、「事実上の」、「現実の」といった意味で使われるようで、ならば教室の対面ではなくとも一定の水準にあるオンライン授業はこの“virtual”に近いといえそうだ。

しかし、環境が許せばvirtualに満足することなく、交流や研修などのプログラムはぜひ実際に体験して欲しい。海外にも行って、見て、聞いて、感じて欲しい。人との交わりを深めて広く文化を学び、これまで知らなかった別の世界も味わって欲しい。同じ年代の学生でもそれぞれ外見や起源が違うばかりではなく、思考法も価値観もみんな違う。それでも、心が通じればお互い理解することができるはずだ。

体験はvirtualが先かrealが先か、いずれにせよどこかで「これ知ってる!」「ちょっと違う?」となれば、仮想現実は無効に働いている。

一口メモ 聖書に由来する学校の名前

以前ここでKIUはSt.Michael'sと紹介しましたが、他に聖公会の学校はSt.Paul's(立教学院)、St.Marget's(立教女学院)、St.Luke's(聖路加国際大学)、St.Hilda's(香蘭女学校)、St.Stephen's(聖ステパノ学園)、St.Mary's(柳城学院)、St.Agnes'(平安女学院) St.Andrew's(桃山学院)などがあり、Poole(プール学院)は英国主教の名からつけられています。



- 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り -

※ みなさんもお時間のあるときにお祈り下さい

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。 アーメン

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。 アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支さえください。また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン